

ほすびたる

No.749

令和2年8月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報	福岡県病院協会 第8回定時会員総会	公益社団法人福岡県病院協会事務局	①
新人物	病院長就任挨拶	久留米大学病院 病院長 志波 直人	⑤
	院長就任のご挨拶	福岡赤十字病院 院長 中房 祐司	⑥
	就任のご挨拶	福岡中央病院 病院長 内藤 正俊	⑦
	院長就任のご挨拶	国立病院機構小倉医療センター 病院長 山下 博徳	⑧
特別寄稿	新型コロナウイルス感染症	福岡県新型コロナウイルス感染症調整本部長 国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長 上野 道雄	⑩
Letter	武漢 ^{China} ウイルス ^{virus} 禍雑考 ～その3～	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 名誉校長 朔 元則	⑫
Essay	時計の修理	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師 安田 宏一	⑭
	人体旅行記 背（その二）	国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之	⑮
■	福岡県私設病院協会「令和2年6月・7月福岡県私設病院協会の動き」		⑮
■	福岡県病院協会だより		⑮
■	編集後記	岡嶋泰一郎	⑲

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベッドマットのリース・洗濯
患者私物衣類の洗濯・紙おむつ・介護用品等の販売

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

理事長 江頭啓介

専務理事 佐田 正之
理事 原 寛
理事 陣内 重三
理事 牟田 和男

理事 津留 英智
監事 杉 健三
監事 松村 順
事務局長 日比生英一



JQA-QMA
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable
清潔さと快適さを追求します



福岡県病院協会 第8回定時会員総会

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

日時 令和2年6月23日（火）17：00～
場所 JR博多シティ
（福岡市博多区博多駅中央街1-1）
総会出席者 出席会員 197名
（うち委任状提出 183名）

■開会宣言

平祐二専務理事は、第8回定時会員総会開会を宣言。

■総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、総会員数250名に対し、出席者は委任状を含め197名と会員の過半数を超えており、定款第17条に照らし総会が適法に成立していることを報告。

■会長挨拶

赤司浩一会長挨拶。

■議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、江頭啓介医療法人社団さくら病院理事兼院長と島弘志社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院病院長を選出。

■議案審議（岡嶋議長）

○第1号議案「令和元年度事業報告について」
平専務理事から、概ね次のように報告された。

I 総務関係 ～会員数について

入会者は1会員であり、この結果、同年度末現在の会員数は251会員である。

II 総会の開催状況

令和元年6月25日に第7回定時会員総会を開催し、平成30年度事業報告など4つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

また、令和2年3月16日に臨時会員総会を開催し、令和2年度事業計画など3つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

III 理事会について

第64回から第73回まで計10回開催し、

会務の執行に当たった。（詳細は議案書に記載のとおり）

IV 「ほすびたる」関係

編集委員会を計11回開催し、毎月20日に合計12回発刊した。（詳細は議案書に記載のとおり）

V 研修会・県民公開医療シンポジウム関係

1 各種委員会等の開催状況

看護、経営管理、栄養管理、リハビリテーション委員会をそれぞれ2回、臨床検査、診療情報管理研究、病院委員会、医療事務をそれぞれ1回、企画委員会を3回開催した。また、令和元年12月3日に参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会を開催し、県民公開医療シンポジウムや各研修会について意見交換を行った（詳細は議案書に記載のとおり）。

2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

月別	研修会名	開催日	会 場	参加人数
6月	第156回看護研修会	R1. 6. 10	九州大学医学部百年講堂	495名
	第1回経営管理研究会	R1. 6. 17	九州大学医学部百年講堂	228名
8月	第59回診療情報管理研究研修会	R1. 8. 20	九州大学医学部百年講堂	248名
	第68回栄養管理研修会	R1. 8. 24	九州大学医学部百年講堂	270名
	第157回看護研修会	R1. 8. 27	九州大学医学部百年講堂	380名
	第11回県民公開医療シンポジウム	R1. 8. 31	北九州国際会議場	105名
10月	第158回看護研修会	R1. 10. 15	ナースプラザ福岡	289名
	第1回リハビリテーション研修会	R1. 10. 19	ナースプラザ福岡	194名
12月	第158回看護研修会	R1. 12. 22	ナースプラザ福岡	209名
1月	病院研修会	R2. 1. 23	九州大学医学部百年講堂	82名
2月	第60回診療情報管理研究研修会	R2. 2. 18	九州大学医学部百年講堂	148名
	第2回経営管理研究会	R2. 2. 20	九州大学医学部百年講堂	313名

Ⅵ その他の事項

例年の事項であるが、四県病院協会連絡協議会に参加し意見交換したほか、「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を1年間更新した（詳細は議案書に記載のとおり）。

以上、第1号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第2号議案「令和元年度収支決算について」

1 令和元年度収支決算

澄井財務理事から、令和2年3月31日現在における貸借対照表、当期における正味財産増減計算書及び同内訳表等に基づき説明があった。なお、「貸借対照表」及び「令和元年度正味財産増減計算書内訳表」は、次頁のとおりである。

2 監査報告

原監事から当期の計算書類が適正に処理されており事業報告も適正である旨の監査報告が行われた。

以上、第2号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第3号議案「任期満了に伴う役員の改選等について」

平専務理事は、現在の理事、監事、議長及び副議長の全員が本定時会員総会の終結と同時に任期満了し、退任することとなるので、新たに選任する必要がある、5月27日付で、全会員あてに立候補届及び推薦届の提出を依頼したところ、締切日の6月10日までに、理事には赤司浩一九州大学病院病院長ほか計25名が、監事には原寿郎福岡市立こども病院理事長兼院長ほか計2名が、議長には岡嶋泰一郎社会保険仲原病院長が、副議長には梅野守男早良病院院長がそれぞれ立候補され、いずれも定款に定める定数以内であることを説明した。

なお、本総会において選任された場合、任期は、本日の総会終了後から令和4年度の定時会員総会

の終結時までとなる旨を補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、選任手続きに入った。議長は、定款第17条第3項の規定に基づき、「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに行わなければならない」ことを説明のうえ一人ずつ決議する旨を述べ、候補者ごとに賛成者の拍手を求めたところ、赤司浩一候補者ほか計25名の理事候補者全員が、過半数を超える拍手により選任された。

次に議長は、監事を選任に移り、同様にして、原寿郎候補者ほか計2名の監事候補者全員が、過半数を超える拍手により監事に選任された。

さらに、議長は議長及び副議長の選任に移り、同様にして、岡嶋泰一郎候補者が議長に、梅野守男候補者が副議長に選任された。

続いて、本議案の後半部分である退任予定者への顧問委嘱案の審議に入った。平専務理事は、今期で退任する寺坂禮治理事の顧問就任について、会員総会の議決を求めた。議長が議場に諮ったところ、全員の拍手により承認可決された。

○ 第4号議案「異動に伴う参与の委嘱について」

平専務理事は、推薦団体の人事異動により、新たに推薦のあった山内徳一福岡銀行地域共創部長と西岡英樹西日本シティ銀行法人ソリューション部長に関し、前任者の残任期間である令和3年6月末までを任期とする参与の委嘱について、会員総会の承認を求めた。

議長が議場に諮ったところ、全員の拍手をもって承認可決された。

■ 議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

■ 総会終了

平専務理事から、議長に対する謝辞と閉会を開催する旨が述べられ、第8回定時会員総会は滞りなく終了した。

貸 借 対 照 表
(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,812,534	1,927,430	885,104
未収会費	50,000	450,000	-400,000
未収金	10,000		10,000
前払金	215,880		215,880
流動資産合計	3,088,414	2,377,430	710,984
2 固定資産			
基本財産			
特定資産			
退職給与積立金	6,174,267	5,844,901	329,366
財政調整積立金	6,054,000	8,076,800	-2,022,800
固定資産合計	12,228,267	13,921,701	-1,693,434
資産の部合計	15,316,681	16,299,131	-982,450
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	189,141	255,350	-66,209
前受金	383,900	397,500	-13,600
預り金	166,695	291,086	-124,391
流動負債合計	739,736	943,936	-204,200
2 固定負債			
退職給与引当金	10,857,990	10,579,580	278,410
固定負債合計	10,857,990	10,579,580	278,410
負債の部合計	11,597,726	11,523,516	74,210
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	3,718,955	4,775,615	-1,056,660
正味財産の部合計	3,718,955	4,775,615	-1,056,660
負債及び正味財産合計	15,316,681	16,299,131	-982,450

正味財産増減計算書内訳表（抜粋）
(平成31年4月から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目 名	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合 計
	シンポジウム	研 修	公益共通	小 計	機関紙	研究会	収益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常収益										
(1) 経常収益										
特定資産運用益	5	14,814		14,819	2	1		3	4	14,826
受取入会金			5,000	5,000					5,000	10,000
受取会費			3,750,000	3,750,000			2,500,000	2,500,000	6,250,000	12,500,000
事業収益	810,000	8,999,500		9,809,500	1,348,000	1,771,500		3,119,500		12,929,000
受取補助金等	625,000	1,875,000		2,500,000	2,888,000	722,000		3,610,000		6,110,000
雑収益		5,500		5,500		2,000		2,000	82	7,582
経常収益計	1,435,005	10,894,814	3,755,000	16,084,819	4,236,002	2,495,501	2,500,000	9,231,503	6,255,086	31,571,408
(2) 経常費用										
事業費	4,090,311	14,618,410		18,708,721	7,226,965	1,095,894		8,322,859		27,031,580
管理費									5,528,137	5,528,137
経常費用計	4,090,311	14,618,410		18,708,721	7,226,965	1,095,894		8,322,859	5,528,137	32,559,717
特定資産評価損益等	-114	-23,140		-23,254	-54	-19		-73	-107	-23,434
当期経常増減額	-2,655,420	-3,746,736	3,755,000	-2,647,156	-2,991,017	1,399,588	2,500,000	908,571	726,842	-1,011,743
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益		5,083		5,083						5,083
(2) 経常外費用										
特別経過済退職給与引当金										
当期経常外増減額		5,083		5,083					0	5,083
税引前当期一般正味財産増減額	-2,655,420	-3,741,653	3,755,000	-2,642,073	-2,991,017	1,399,588	2,500,000	908,571	726,842	-1,006,660
法人税、住民税及び事業税									50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	-2,655,420	-3,741,653	3,755,000	-2,642,073	-2,991,017	1,399,588	2,500,000	908,571	676,842	-1,056,660
一般正味財産期首残高	-17,411,096	-23,134,932	28,573,375	-11,972,653	-15,516,758	6,787,757	8,158,205	-570,796	17,319,064	4,775,615
一般正味財産期末残高	-20,066,516	-26,876,585	32,328,375	-14,614,726	-18,507,775	8,187,345	10,658,205	337,775	17,995,906	3,718,955
II 指定正味財産増減の部										
III 正味財産期末残高	-20,066,516	-26,876,585	32,328,375	-14,614,726	-18,507,775	8,187,345	10,658,205	337,775	17,995,906	3,718,955

公益社団法人福岡県病院協会 役員名簿
(役員任期：令和4年度定時会員総会終結時まで)

役職名	氏 名	所属病院及び役職
会 長	赤司 浩一	九州大学病院 病院長
副会長	志波 直人	久留米大学病院 病院長
副会長	田中 文啓	産業医科大学病院 病院長
副会長	岩崎 昭憲	福岡大学病院 病院長
副会長	一宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 病院長
専務理事	平 祐二	医療法人原三信病院 理事長
総務理事	岩永 知秋	久山療育園 重症児者医療療育センター センター長
財務理事	伊東 裕幸	宗像医師会病院 病院長
企画理事	壁村 哲平	済生会二日市病院 院長
理 事	安藤 文英	医療法人西福岡病院 理事長
〃	江頭 啓介	さくら病院 理事長兼院長
〃	於保 和彦	(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 院長
〃	桑野 博行	福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長
〃	小嶋 享二	福岡県立精神医療センター太宰府病院 院長
〃	島 弘志	社会医療法人雪の聖母会常務理事 兼聖マリア病院 病院長
〃	津留 英智	医療法人社団水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	中房 祐司	福岡赤十字病院 院長
〃	平城 守	公立八女総合病院 企業長兼院長
〃	深堀 元文	医療法人社団益豊会今宿病院 理事長兼院長
〃	前原 喜彦	公立学校共済組合九州中央病院 病院長
〃	増本 陽秀	飯塚病院 院長
〃	松浦 弘	済生会福岡総合病院 院長
〃	森田 茂樹	国立病院機構九州医療センター 病院長
〃	山下 博徳	国立病院機構小倉医療センター 病院長
〃	横倉 義典	ヨコクラ病院 院長
監 事	野村 秀幸	社会医療法人原土井病院 病院長
〃	原 寿郎	福岡市立病院機構理事長 兼福岡市立こども病院 病院長
議 長	岡嶋泰一郎	社会保険仲原病院 院長
副議長	梅野 守男	早良病院 院長
顧 問	今泉暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃	河野 正美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃	瓦林達比古	(一社)福岡県社会保険医療協会 理事長
〃	久保 千春	九州大学 総長
〃	石橋 達朗	九州大学 理事 兼副学長
〃	岡留健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	上野 道雄	国立病院機構 福岡東医療センター 名誉院長
〃	寺坂 禮治	福岡赤十字病院 名誉院長

病院長就任挨拶

久留米大学病院

病院長 志波 直人



令和2年4月より、久留米大学病院長を担当させていただくことになりました。平成28年度に当時の前病院長の残任期間1年の病院長を担当させていただき、今回は3年の間隔をおいての再任となります。よろしくお願い申し上げます。

今回、病院長になってすぐに、COVID-19の対応に追われました。久留米大学として、行政や福岡県新型コロナウイルス対策本部との連携を緊密に行いながら要請に応えるとともに、久留米大学病院では救命救急センターで重症、分院の久留米大学医療センターでは軽症のCOVID-19患者を受け入れました。地域医療の観点から地域の感染症指定医療機関との連携に努め、人的支援や円滑な患者受け入れに心掛けました。現在は第二波に備え、病床の確保、複数診療科によるCOVID-19診療グループ結成などの体制を整えています。また、皆様の施設も同様と思いますが、現在は、コロナ禍による患者減、医療収入減の回復に全力で努めているところです。

さて、現在、国を挙げて、地域医療構想、医師偏在（地域枠、専門医制度等）、働き方改革の三位一体の医療改革が進行しています。これらはお互いに関連し、前二者は都道府県単位、医療圏単位での調整が基本となっています。久留米大学は開学以来、地域に根差した医療を実践し、令和元年12月調べで久留米二次医療圏、福岡県を越えて、109の医療施設に、大学病院に勤務する医師数とほぼ同数の588名の常勤医

師を派遣し、担当する地域医療の人口はおよそ100万人となります。

久留米大学病院は、特定機能病院、高度急性期病院として、がん拠点病院、高度救命救急を核とし、分院である久留米大学医療センターとともに高度医療を提供し、関連病院とともに地域医療を担います。これから私たちは、三位一体の医療改革の下、地域医療を守り、健全な医療経営を実践していかなければなりません。

このような状況の中で、いかに若い医師たちを引き付ける魅力ある大学病院にするかが最も重要な課題と認識しています。そのために、われわれ一人一人や、それぞれの科が、自身の問題としてこれを捉え、個人でできること、診療科でできること、病院全体で解決すべきことを明確にして、一丸となって知恵を出し、協力していかなければなりません。がん拠点病院や高度救命が久留米大学病院の最大の魅力であり、医学生や研修医には、他ではできない、高度医療と地域医療の実践を体験できることを発信して行きたいと思います。

私の久留米医師会の参与も三期目を迎え、多くの医師会の先生方とお話をする機会が増えました。さらに医師会、同窓の皆様との連携を密にして、風通しの良い運営を心掛ける所存です。最近、特に強く思うことは、若い医師たちが、高い志と希望を持ち、誇りを持って働ける久留米大学病院として、今後もあり続けなければならないということです。

院長就任のご挨拶

福岡赤十字病院

院長 中房 祐司



令和2年4月1日付で福岡赤十字病院の院長を拝命致しました中房祐司です。昭和58年に九州大学医学部を卒業し、九州大学第一外科（現：臨床・腫瘍外科）に入局しました。3年間の米国留学を含めて15年程は移植の臨床や研究に携わりました。その後、佐賀大学では大腸癌の臨床・研究、平成21年に当院へ赴任してからは大腸癌、乳癌の診療を担当しました。これからは公的病院の社会的役割と健全経営との両立を考えながら病院全体の管理・運営を担当する立場となり、身の引き締まる思いです。

さて、当院は平成25年に現在の病院として新築オープンしました。手術室、血管造影室、集中治療室（ICU、HCU、ECU）をひとつのフロアに集約し、手術や脳・心血管などの急性期疾患への対応環境を整備しました。現在、511床（一般509床、感染2床）、標榜診療科36科、医師175名の充実した診療体制となっています。平成28年には病院機能評価、平成31年には外国人患者受入（JMIP）の認証を受けました。また、平成30年からはDPC特定病院群に指定されています。診療体制、診療内容など様々な面から大学病院に準ずるレベルに成長してきたと考えています。

私は当院を「医療レベル」、「経営体質」、「教育・人材育成」、全ての面でさらに発展させ日本トップクラスの病院とすることを目標に掲げています。このためには医学界や社会の動向さらに職員のニーズをしっかりと捉え、常に状況に応じた変化をしていく必要があると考えます。

まずは、当院での症例が急増してきた不整脈に対するカテーテルアブレーションの診療環

境整備を進めます。このために専用の血管造影室を増設する予定です。また、今後ますます入院期間は短縮されると予想され、効率的で適切な入院診療を行うために入退院支援センターの設置を計画しています。ロボット支援手術もさらに拡大・定着すると考えられます。一昨年にダヴィンチXiを導入し、泌尿器科と消化器外科領域では早期に保険適応を獲得して順調に症例を伸ばしてきました。これからは呼吸器外科や婦人科領域でも積極的に手術症例増加を目指していきます。

当院では働き方改革を当面の大きなテーマと位置づけています。医師にとっての実感のある、実質的な働き方改革をすることが重要です。このため、当番制・グループ制の確立や勤務時間管理・短縮を病院として強力に進めます。さらに、職員が期待感を持つ改革とすることも大切です。年度始めに休暇取得の計画を応援して楽しみ作りにつなげ、前向きな働き方改革を病院が中心となって推進することを考えています。この働き方改革と人材育成をしっかりと組み合わせて職員満足度を高め、目標達成のための意欲向上につなげたいと考えています。

今回、新型コロナウイルス感染症によって多くの病院が急激な対応を迫られました。これもコロナと共にという新たなニーズが生まれてきたと捉えるべき状況です。期間限定かも知れませんが、今までの病院運営とは異なってくるとも考えられ、柔軟な対応が必要とされそうです。目標を見失わないようにしながら、適切な変貌を遂げたいと考えています。これからも皆さまのご指導を宜しくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

福岡中央病院

病院長 内藤 正俊



平成 19 年の福岡大学病院長、平成 29 年の福岡山王病院長、そして今回、今年 4 月に着任したばかりの福岡中央病院長として 3 度目となるご挨拶の機会を頂きました。有難うございます。“Old face”ですが、生まれ変わって間もない私共の病院についてご紹介させていただきます。

国際医療福祉大学・高邦会グループは、昨年の 4 月「安心・信頼・連携の医療」をモットーに福岡市中央区を中心とした地域医療を 68 年間担ってきた福岡通信病院を継承し、一層の発展のために福岡中央病院を開設いたしました。当院には福岡市の中心業務地区である天神に隣接している地理的優位性があり、医療・福祉の原点である優しさや温かさなどが病院の文化として既に根付いています。日本初の総合医療福祉大学である国際医療福祉大学には「共に生きる社会の実現をめざす」という建学の精神があり、先進的医療を誇る福岡山王病院などを持つ高邦会には「生命の尊厳、生命の平等」という理念があります。当院は、これらの当グループの建学の精神や理念を基にスタッフの拡充、質を一段と向上させた医療の実践、中核医療機関との連携の強化などにより、満足度の高い医療サービスの提供や更なる地域医療への貢献を目指します。

当院の概要ですが、1 階と 2 階に外来、リハビリテーション、各種検査室、内視鏡室などがあります。病棟は 3 階から 6 階にあり、総病床数は 192 床です。3 階は地域ケア病棟で 60 床です。急性期機能病棟は 4 階の 39 床と 5 階の 48 床で合計 87 床です。6 階は慢性期機能病棟で 45 床です。他に 3 階には人間ドックがあり、

4 階に手術室と心臓カテーテル室を設置しています。

診療部門については、19 の診療科と禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、もの忘れ外来、肛門外来、乳腺外来、ペインクリニック外来の 6 つの専門外来で構成されています。伝統的にレベルの高い循環器内科を始めとした内科系が充実していますが、さらに今年、消化器内科、特に膵臓疾患の泰斗を含め合計 3 名の消化器内科医が着任致しました。また我が国を代表する脳神経内科医をセンター長とした脳神経センターも新設致しました。全ての脳神経疾患に対し 7 名の脳神経内科医を中心に多職種スタッフによる最先端の診療体制が整いました。外科系も体制の強化と高度医療人の任用を推進しています。昨年の 4 月、開設と同時に外科を刷新し、肝疾患・膵疾患に対する切除術だけでなく、消化器系がんに対する腹腔鏡・腹腔鏡下手術による低侵襲治療も安全に行えるようになりました。今年 4 月には整形外科も拡充し、脊椎外科指導医と関節外科専門医の 2 名を増員しました。脊椎の難治性疾患や関節の高度機能障害に対する手術を含め全ての運動器疾患を治療しています。病院全体の常勤医師数は、今年さらに 10 名増員し、合計 31 名になっています。精神科及び産科以外の全ての疾患に対する診療から療養のサポートまで経験豊かな医療スタッフがきめ細かなチーム医療を行っています。予防医学にも力を入れており、現在、人間ドック受診者数は年間 1300 名前後です。

公益社団法人福岡県病院協会の皆様には、是非、今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

院長就任のご挨拶

国立病院機構小倉医療センター

病院長 山下 博徳



令和2年4月1日付で、澄井俊彦前院長の後任として病院長を拝命いたしました山下博徳と申します。この度は、福岡県病院協会の機関誌「ほすびたる」の紙面をお借りして、ご挨拶を申し上げます。

私は、昭和58年に久留米大学医学部を卒業し、九州大学医学部小児科学教室に入局いたしました。1年目の研修は福岡市立こども病院でしたが、そこで新生児医療に興味を持ち、2年目の大学研修から新生児グループに所属しております。大学病院勤務後は唐津～福岡～山口赤十字病院と足掛け10年、赤十字病院に勤務いたしました。平成10年から国立病院九州医療センター、そして平成12年から同じ国立病院である国立小倉病院（現在の小倉医療センター）に異動して、現在に至っております。

小倉医療センターは、「この病院があるから、この街に住みたい」と思われるような病院を目指します」という理念のもと、21診療科、6センター（消化器病センター、肝臓病センター、精神神経センター、成育医療センター、小児神経センター、糖尿病センター）、10部門（看護部、臨床検査科、臨床研究部、放射線部、治験管理室、薬剤部、リハビリ、栄養管理室、医療安全管理室、診療情報管理室）を携え、病床数400床を持つ総合診療施設として地域医療に貢献しています。それぞれの診療科では専門性を活かし、地域の患者さんやかかりつけ医の先生方のrequestに応じることができるよう外来診療・入院診療を行っております。院内では、緩和ケアチーム、院内感染対策チーム、褥瘡対策委員会等の診療科の垣根を超えた活動で、総

合的な医療を提供できるよう取り組んでいるところです。また、近年は専門性の高い急性期の治療はもとより、「地域包括ケア病棟」の運用を通して、地域に根差した患者さんのケアを継続的に行っております。

ここで、当院の特色ある医療体制をご紹介します。ひとつは、周産期医療の高度化に伴う社会的需要の高まりのなか、小児科医21名（小児科学会専門医13名）、産婦人科医15名（日本産科婦人科学会専門医11名）、小児外科医3名（小児外科学会専門医3名）を擁し、あらゆる状況にも対応できる全国的にも有数の医療体制を作り上げました。さらに、病棟再編で周産期・小児病棟の拡充を計画しており、北九州市はもちろん京築地区や豊前、中津市に至るまでの診療所の先生方や患者さんが、安心して高度な医療を受けられるように尽力しています。当院では北九州市周産期医療協議会での話し合いを受けて、正常～Low risk妊娠に関しては地域の診療所にお問い合わせ（もちろん、ご紹介いただきましたら、すべてお受けします）し、役割分担であるHigh risk妊娠に対応しています。出生した新生児の緊急搬送依頼に対しましては、従来通り新生児科医が当院に配備しております周産期医療特化型医師搬送用ドクターカー（写真1）あるいは市中の救急車を活用して駆け参っております。

もうひとつの特色ある医療体制は、総合病院で精神科の入院機能を有しており、身体合併症治療が行えることです。7名の精神科医師（精神保健指定医3名）が各診療科の医師と連携し、精神疾患の管理を行いつつ身体合併症治療

ができる数少ない病院です。精神科病棟は平成30年10月に新築され、開放病床22床、閉鎖病床26床、観察室2床の計50床よりなり、病室は2人部屋が主体（個室は8室）で、気分障害や不安障害の患者さんの休養にも適した環境となっています。

小倉医療センターは持てる機能を最大限に活用して、地域医療へ貢献できるようにスタッフ一同頑張りますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

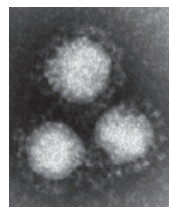


写真1 ドクターカーと右から岡嶋前々院長、澄井前院長と私



新型コロナウイルス感染症

福岡県新型コロナウイルス感染症調整本部長 上野 道雄
国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長



令和2年はコロナと共に始まった。武漢の得
体の知れない肺炎は新型コロナウイルス感染症と
なり、湖北省で爆発的に広がる一方、福岡市内
には中国人観光客が溢れていた。1月29日、
福岡県感染症危機管理対策委員会が開催さ
れ、発生状況に関する報告と対応に関する検討
を始めた。帰国者・接触者相談センターでのPC
R検査を行う対象者の基準や透析患者・小児・
妊婦への対応を協議したが、2月末には韓国大
邱での集団感染が爆発した。大正時代のスペイ
ン風邪、全世界で5億人以上が罹患し、2000
万人以上が亡くなり、日本でも200万人以上が
罹患して25万人が亡くなった。当時の懸命な努
力は徒手空拳に近い。人類がそれなりの武器を
帯びてパンデミックウイルスと戦う最初の機会を目
撃するのではないか。

第2種感染症指定医療機関が中核で対応す
ることになるが、戦後70余年、指定感染症に
対する実践経験はエボラ出血熱の疑い患者だけ
である。福岡県と福岡県医師会は、感染症指
定医療機関の現状の調査と意識確認が喫緊の
課題として新型コロナウイルス感染症関係病院
長会議を開き、個々の病院長から事情を伺った。
中国、韓国、そして国内の先行流行地域の状
況から、感染症指定医療機関の66床での対応
は危ういと3月の中旬以降、感染症指定医療機
関、自衛隊病院、そして協力病院を訪問し、結
核病床や感染症病床と同一フロアの一般病床の
感染症病床への転用をお願いした。福岡県はホ
テルを借り切った宿泊療養体制を早急に構築
した。病院の協力で、感染症病床数は急速に
拡大したが、患者の急増には追い付かず、待

機患者が溢れた。

感染症病床への転用には、入院中の患者の
移動や転院、医師、看護師への予防着の着脱
訓練、患者導線の確定等の環境整備が必要で
あった。加えて、感染症病棟にはPCR陽性の新
型コロナウイルス感染症患者と疑い患者、陰転
化した患者が混在する。病棟に個室は少なく、
多くは6人部屋や4人部屋である。福岡県感染
症危機管理対策委員会で効率的、かつ安全な
運用手順を検討した。一般ホテルの転用には、
患者の安全性と快適性を勘案したゾーニングか
ら、地域住民への説明等の多大なる業務を要し
た。県職員や病院、医師会、保健所、地域行
政、DMAT、JMAT、救急隊等の不眠不休の
献身で実施された。多数の新型コロナウイルス
感染症患者が発生した福岡県で、時には待機
患者が溢れ、また、人工呼吸器やECMOの運
用環境が逼迫した時期もあったが、医療提供体
制が崩壊することなく、対応病院と職員は貴重
な経験を得た。しかしながら、今回の新型コ
ロナウイルス感染症に対する医療提供体制は多
くの課題を残した。

コロナ流行の第2波、第3波には、今回以
上の流行を想定してみる。感染症医療に対する
貴重な経験を得た感染症指定医療機関とそれ
に準ずる協力医療機関を有効に活用するため、
まず、感染症指定医療機関での入院加療と宿
泊療養施設での入所のトリアージ基準を振り返
って見た。新型コロナウイルス感染症の重症
度は大別すると、人工呼吸器やECMOの装着
が必要な重症患者、酸素吸入が必要な中等症
と必要ない軽症患者、症状のない無症候患者
に大別

された。感染症指定医療機関の患者の多くは軽症患者であった。第1波での経験から、1週間を経た軽症患者が重篤化することは少なく、また、無症候患者でも発症後数日で重篤化することを経験した。これらの経験と知見を専門医の立場で振り返り、宿泊療養施設と感染症指定医療機関での入院加療の規準を見直すと、感染症病床はより特化した医療を担う余地が考えられた。

次に、新型コロナウイルス感染症患者はPCRが陰転化して症状が軽快すると、一般の急性疾患と同様に、多くの患者は退院し、高齢者や合併症を保持する患者の一部は更なる入院加療が必要になる。ところが、新型コロナウイルス感染症への危惧の念が強く、病病連携が円滑にいかず、転院可能な患者が感染症病床を占める事例が垣間見られた。

新型コロナウイルス感染症に対する危惧の念、当該医療機関の他の入院患者を守る気持ちは理解できる。新型コロナウイルス感染症の広範な流行は初めての経験である。地域の各病院は新型コロナウイルス感染症の治療、対処に関する不安や要望を忌憚なく感染症指定医療機関や、福岡県病院協会、福岡県に伝えて欲しい。関係者の不安を共有して、誤解を取り除き、障害をひとつ、ひとつ解決していく。新型コロナウイルス感染症に対する戦いは、感染症指定医療機関と行政、医師会だけで行うものではなく、地域全体で感染症病床を効率的に運用する道筋を考えていくことが望まれる。

新型コロナウイルス感染症の流行に際し、病院は速やかに病棟編成を変え、看護体制を変えて、大学は可能な限り病院を支援した。福岡県は4月初旬の時点で200床ほどを、4月末には400を超える病床を確保した。実際の新型コロナウイルス感染症患者の最大入院数は260人前後で、各病院の確保病床数と実際の受け入れ患者数には、相当の解離が見られ、感染症病床の稼働率は必ずしも高くはなかった。しかしながら、

病院の声は、「職員は全力を挙げて懸命に頑張った。これ以上の患者の受け入れは難しかった」で、病院に伺うと、担当診療科医師の疲労は限界に近く、見かけの数字以上に提供体制は危うかった。平時の診療と同様に、専門領域の感染症内科や呼吸器内科が主として対応した結果、担当診療科は疲弊し、受け入れ患者数は専門医数に依存する傾向が強かった。今回、患者の受診抑制で病院の外来と入院患者数は減少した。そこで、他の診療科の協力を仰ぐ試みもあったが、実現は難しかった。基幹病院の医師が専門領域以外の患者を担当することは研修医時代を除いてない。感染症病床を有効に活用するには、この慣習を破って、新たな診療科間の協力体制を築く必要がある。感染症への診療経験の乏しい医師の対応は院内感染等の問題を孕むが、欧米や他の医療崩壊した地域では、医師の専門性の如何に関わらず対応を迫られた。当然のことながら、なし崩しの対応は危険である。第2波、第3波で医療資源を活用し、安全な医療体制を提供することは喫緊の課題であるが、一病院の努力で解決できるものではなく、我々医療界全体で考える必要がある。

最後に、福岡県の新型コロナウイルス感染症の基本は「全ての患者を本人自身と周囲の安全のため、隔離医療を図る」であった。ところが、福岡市と県域では、宿泊療養施設や感染症指定医療機関等に収容されず、結果的に自宅療養に終始した患者が10%ほど存在した。県民への積極的で有効なメッセージの発信が求められる。課題は多く書き尽くせないが、結論は戦後最大の未曾有の災害に対して、全ての医療者が一部の部署に任せず、個々の立場で寄与する途を模索し、発信、実行することである。

China virus 武漢ウイルス禍雑考～その3

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園看護専門学校 名誉校長

ウイルスはどこから来たのか？

ほすびたる第748号（2020年5月、6月合併号）では、武漢ウイルス（China Virus）禍雑考と題して、主として中国共産党習近平政権の隠蔽体質や、安倍政権の対応のまずさと昭恵夫人の愚行に対して、やや八つ当たりとも取れるような批判論を展開してきた。そのことを反省している訳ではないが、第749号（7月、8月合併号）のLetterは、タイトルは同じでもがらりと視点を変えて、ウイルスや細菌の漏出事件について考えてみたい。

WHOによってSARS-COV2と命名された武漢ウイルスが、実は中国武漢の生物兵器研究所から漏出したものではなかという疑惑はまだ根強く囁かれている。私自身もその可能性は大いにあり得ると考えている一人であるが、これがたとえ真実であっても中国政府がそれを認めることなど絶対にあり得ない。マスメディアも、そのことを取り上げて論じて、確たる証拠がない限り水掛け論に終わってしまうことがはっきりしている。余程の新しい事実が証明されない限り、あるいはトランプ大統領が大統領選挙の劣勢挽回策の切り札として再度この問題を持ち出さない限り、沈黙を守るであろう。真実は永遠に闇の中に葬られる公算が極めて大きいと私は考えている。

真実が判らないのにいろいろと推測するよりも、真実がすべて明らかになっている漏出事件について紹介する方が今後の教訓としても役に立つと思うので、今月のLetterでは40余年前に発生した細菌漏出事件について紹介したい。

以下に述べる炭疽菌漏出事件については、井上尚英九州大学名誉教授が、医学雑誌「臨床と研究」97巻3号、4号において、「スヴェルド

ロフスク事件の真相をえぐる」と題する論文で詳細に発表されている。本稿ではその概要を御紹介させていただくが、興味のある方は是非井上名誉教授の論文を読んでいただきたい。

不自然な疫病の発生

ソヴィエト連邦の独裁者スターリンは、太平洋戦争における日本軍の731部隊の生物兵器研究に大きな興味を示し、第二次世界大戦の終結直後に、ウラル山脈の西側に位置するスヴェルドロフスクに世界最大の生物兵器工場を建設することを命じた。

1972年にモスクワで開催された会議で「生物病原体を軍事目的に開発、保有しない」といういわゆる「生物兵器禁止条約」が締結され、ソ連はその加盟国118カ国の中の1か国であったが、実体は全く異なっていた。スターリンは20年余りの歳月をかけ、巨大な生物兵器開発システムを作り上げていたのである。

1979年4月、ソ連で不自然な疫病の流行が起こっているらしいという情報がイギリスの秘密情報機関にもたらされたが、真偽の程は定かでなかった。それから6ヶ月が経過した1979年10月になって、ソ連からの亡命者達のロシア語の新聞（フランクフルトで発行）紙上で同様のことが公表され、西側のマスコミ数社がこれに追随した。しかし当然のことながら、ソ連の国営タス通信はこれを悪意に満ちた作り話として激しく非難したのである。

1980年3月17日、米国のカーター大統領はスヴェルドロフスクでの疫病発生についての説明を要求する外交文書をソ連に送付した。ソ連外務省の公式返答（3月20日）は、「炭疽菌に汚染された肉が闇市で売られ、それを食べて腸炭疽が発生した」というものであった。最近

もどこかで聞いたと同じような内容の弁明である。

どういう訳か当時の米国の生物兵器の第一人者であるハーバード大学の微生物学教授マシュー・メセルソン博士はこのソ連の発表を強く支持したのであるが、CIA はスヴェルドロフスクの軍事施設からの炭疽菌漏出が原因であると主張していた。当然のことながら、ソ連と米国双方の水掛け論の応酬となり真実は闇の中であった。

事件の真相と必死の隠蔽工作

真実が明らかになったのは、1991 年 12 月 25 日にソヴィエト連邦が崩壊した後のことである。1992 年になって米国とロシアの科学者の一行がスヴェルドロフスク市（この時、市名は革命前のエカテリンブルグに戻っていた）を訪問し、1 週間をかけてこれまで KGB の押収から逃れ、隠されていた患者の病理組織標本や医師個人のノート類（カルテや公式の剖検記録はすべて KGB によって押収されていた）を探し出し、詳細に検討したのである。明らかにされた真相は下記のようなものであった。

1979 年 3 月 30 日金曜日の夕方、生物兵器工場の第 19 区炭疽菌乾燥プラントで勤務を終えた技術主任が「フィルターが詰まったので取り外してあります。必ず取り付けをお願いします」というメモを残して帰宅した。夜間勤務の技術主任は持ち場に着くとまず業務日誌を確認した。しかしそこには特別に変わったことは何も書かれていなかったのである。彼は残されたメモは読まないままに通常通り機械を稼働させた。

この単純ミスで炭疽菌の萌芽が換気扇を通して夜の静寂の中へ静かに漂い出て行ったのである。その大半が施設の南にある軍事施設、500 メートル程離れた陶器パイプ工場へ、さらに南側に広がる 6 つの村に飛散した。誰一人としてこの事故の発生に気付く筈はなく、作業員の一人がフィルターの欠落に気付いたのは稼働開始から 5～6 時間経過した後のことであった。すぐに機械の運転は停止され、新しいフィルター

も装着されたが、この事実は何人かの直接の上司に伝えられたのみで、市当局やモスクワの国防省本部には全く何も知らされなかったのである。数日のうちに発病者が出始めた。隣接する軍事施設に駐屯する兵士、陶器工場で働いていた人達、屋外に立っていたり、道を歩いていた人達であった。

高熱と呼吸困難、チアノーゼを発症した人達が病院に押し掛けたので、何も知らされていない医療関係者は未知の伝染病かも知れないとただパニックに陥るだけであった。市内にある第 20 病院に収容された患者だけで 42 名が死亡、家の中で死んでいたり、道端で意識不明で発見された人もいたということである。

モスクワの KGB 本部はアンドロポフ議長の厳命で大がかりな隠蔽工作を開始、すべての資料が押収された。医師を装った KGB 職員が死亡者の家庭を訪問し、腸炭疽という病名の偽造死亡診断書を配って回ったということである。後にロシア政府は 96 名が発症し、66 名が死亡したと公表したが、実数はそれより遥かに多かったのではないかと推測されている。

炭疽菌による呼吸器感染症の発症には 1 日～5 日の潜伏期間があり、さらに発症しても最初はインフルエンザ様症状だけの場合が多い。この間に適切な治療が施されれば死亡には至らないのだそうである。スヴェルドロフスクの惨状は真に人災であった。ただ原因がウイルスではなく細菌であったことと、事件が起きた場所が人口の少ない寒村であったことが幸いして、エンデミック（極く限られた場所での流行）で終息した。

今回の武漢ウイルス パンデミック、もしもその原因がウイルス漏出にあったとしても、その切っ掛けとなったのは、「スヴェルドロフスク事件と同様に単なる連絡メモの見落としのような単純ミス、あるいは焼却処分すべきものをしていなかった等の人為ミス」であったのではないかと妄想を逞しくしている an aging surgeon である。

時計の修理

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

わが家の時計は、^{おもり}錘が動力の鳩時計である。時間がちょうどになると、その時刻の数だけ、鳩が鳴く。穏やかな音で、うるさくない。息子がドイツに旅行した時に、買ってきた。便利に使っていたのだが、突然壁から落ちた。時計は動かず、錘を下げていた鎖も、ばらばらになっていた。デパートの時計修理に持って行っていたが、「セイコーとシティズンしか修理しません」と言われた。2～3軒廻ってみたが、同じであった。

壊れた時計を抱えて地下鉄に乗って、ふと唐人町に時計屋さんがあったことを、思いだした。その時計屋さんに行くと、「いいですよ、直しましょう」と、

引き受けてくれた。何日かたって、「直りました」と連絡があった。時計はちゃんと動いていたし、折れていた針も新しいものになっていた。ばらばらになっていた鎖も、つながっていた。喜んで帰って、以前の壁に掛けたのだが、針が動かない。時計屋さんに再び持って行くと、そこでは動いた。よく調べてみると、我が家の壁が傾いていたのである。時計屋さんにはそう報告し、お礼にお菓子を持って行った。時計は別の壁に掛けて、今も動いている。

昔ながらの、職人技を見せてもらったという思いである。



鳩時計

人体旅行記 背（その二）

国立病院機構都城医療センター 吉住 秀之
院長

尋常性狼瘡に対するフィンセンの光線療法が抗生物質の登場により衰退したように、当時ブームとなっていた光線浴も下火になっていきます。日光ではなく、白熱灯の光を浴びる健康法として光線浴を宣伝したのは、ジョン・ハーヴェイ・ケログ John Harvey Kellogg (1852～1943) でした。言わずと知れたシリアルの元祖であるコーンフレークの発明者です。彼は1875年に医学学位を取得し、独自の健康法を次々と提唱します。光線浴もその一つで、亡くなった1943年にはニューヨークタイムズに「電気光線浴の発明者」として紹介されているくらいです。彼は光が万病に効くと信じ、自身が発明しバッキンガム宮殿に設置した光線浴装置でエドワード7世の痛風を治癒させたと1910年に述べています。それにとどまらず、チフスや猩紅熱、糖尿病、肥満、壊血病、慢性胃炎にも有効だと主張し、アーク灯から出る紫外線で日焼けすることが活力を生み出すとも書いています¹⁾。

ケログは、医学を修めたビジネスマンであっただけでなく、同時に熱心なセブデー・アドベンチスト（安息日再臨派）教会信者でもあり、厳格な菜食主義者でした。シリアルを発売するに至ったのも彼の食習慣も関係していましたが、より深い理由がありました。彼はその宗教的信念から人間の性欲がさまざまな疾病を起こす原因であると信じており、特に自慰に耽る者は、「全身衰弱肉、

肺病に似た症状、早熟で障害の伴った発達、気分の急変、脱力感、不眠、知的能力の低下、気まぐれ、（中略）、寝小便、卑猥なことを口にする」などの徴候が認められ、その結果、尿道の炎症、前立腺肥大、膀胱と腎臓の感染症、持続勃起症、いぼ痔、脱肛、睾丸の萎縮などをもたらすと主張しました。果ては「子作りに励む人は、性交の頻度をある程度制限しないと発狂する」という信念を持っていました²⁾。滋味のある食事は、性欲を高めるので、植物性の質素な食事こそが健康的な生活には適していると考え、コーンフレークを発売したのでした。後年シリアルに（性欲を高めると彼が信じていた）砂糖を添加するかどうかで弟と対立し、ついに絶縁状態となります。弟のウィルは独立し、1906年現在のケログ社を創設しました。ライフスタイルの適正化で健康が維持され、発病予防につながるという基本原理は間違っていないのですが、そこを不道德と結びつけ極端に走るところは、さすが禁酒法の国だなあとと思います。

- 1) ある特定の条件下で紫外線が殺菌作用を有するという科学的知見が光線であればどんな病気にも有効であると無条件化され、奇っ怪な健康法が巷にあふれるということは現代でも繰り返されています。
- 2) 彼も結婚はしましたが、子供は全員養子でした。

◎私設病院協会

令和2年6月～7月 福岡県私設病院協会の動き

◎ 新型コロナウイルス感染症のPCR検査に関する要望書提出

日 時 6月3日(水) 午後3時

場 所 福岡県庁 保健医療介護部長室

提出先 福岡県知事あて

(飯田保健医療介護部長)

提出者 4団体連名 代表 江頭会長・津留副会長・中尾専務理事

(福岡県私設病院協会、全日病福岡、福岡県医療法人協会、福岡県慢性期医療協会)

内 容 「スクリーニング検査の実施について」今後予想される第2波・3波に備え、以下3点の申し入れを行った。

- 病院の新規入院患者、介護施設の新規入所者へのスクリーニング検査としてのPCR検査の実施
- 感染症指定医療機関等以外の医療機関でも、スクリーニングPCR検査が行えるよう県が指定すること
- スクリーニング検査は公費負担とすること引き続き、私病協と県の間で事務レベルの折衝を継続することとなった。

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 6月5日(金) 午後3時

場 所 協会会議室

議 題

1. 協議事項

- (1) 看護部長会企画研修会のテーマについて

- (2) 新型コロナウイルス対策・対応について

2. 報告事項

- (1) 私設病院協会研修会について
- (2) 私設病院協会4月～5月の動き

◎ 第3回理事会

日 時 6月9日(火) 午後3時30分

場 所 協会会議室

議 題

1. 会長あいさつ

2. 協議事項

- (1) 新体制による担当(案)について
- (2) 行政・関係団体等の委員就任(案)について
- (3) 「事務長会運営委員会」・「看護部長会運営委員会」委員改選について
- (4) 会員異動について
- (5) 研修会について
- (6) 地域医療構想について
- (7) 新型コロナウイルス感染症対応について
- (8) 役員退職慰労金について
- (9) 職員の賞与について

3. 報告事項

- (1) 私設病院協会
- (2) 看護学校
- (3) 医療関連協業組合
- (4) 関係団体

◎ 広報委員会

日 時 6月9日(火) 午後4時30分

場 所 協会事務室

議 題 福私病ニュースの編集について

◎ 新型コロナウイルス感染症のPCR検査等の
促進に関する県との協議

日 時 6月26日（金）午後2時

場 所 福岡県庁 保健医療介護部会議室

相手方 佐野・がん感染症疾病対策課長外2名

内 容 「スクリーニング検査の実施について」
（6月3日知事あて要望書の提出を受けての継続協議）

- 私病協からは、無症状者からの新型コロナウイルス感染例もあり、より幅広いPCR検査の実施とその公費負担を要望した。
- 県からは、現状でも検査体制の拡充に努めており、今後、検査体制のあり方について専門家を含めての更なる検討を行うとの前向きな回答が得られた。

◎ 第4回理事会

日 時 7月14日（火）午後4時

場 所 ウェブ会議

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 「事務長会運営委員会」「看護部長会運営委員会」委員改選について
 - (3) 研修会について
 - (4) 地域医療構想について
 - (5) 新型コロナウイルス感染症対応について
 - (6) 令和2年7月豪雨被災状況について
 - (7) 後援名義使用について（九州ホスピタルショウ2020）

3. 報告事項

- (1) 私設病院協会
- (2) 看護学校
- (3) 医療関連協業組合
- (4) 関係団体

◎ 事務長会運営委員会

日 時 7月16日（木）午後3時

場 所 協会会議室

議 題

1. 協議事項

- (1) 新型コロナウイルスの影響と対応について
- (2) 事務長会企画研修会について
- (3) 情報交換について

2. 報告事項

- (1) 私設病院協会研修会について
- (2) 私設病院協会5月～6月の動き



理 事 会

◎ 第3回臨時理事会（みなし決議）報告

新型コロナウイルス感染症予防を図るため、協議事項2件について書面表決を行うとともに、報告事項5件について通知による報告を行い、令和2年6月30日にいずれも決議・承認されました。

I 理事会の決議があったとみなされたもの

1 事項の内容

第1号議案 代表理事（会長）の選定について

赤司浩一理事を代表理事（会長）に選定することについての同意を求めるもの

第2号議案 副会長、業務執行理事等の選定について

副会長に県内3大学病院（久留米大学病院、産業医科大学病院、福岡大学病院）の病院長に加え、一宮理事の4人、業務執行理事（専務理事、総務理事、財務理事及び企画理事）に、平、岩永、伊東及び壁村理事、五役には、一宮及び横倉理事を選任することについての同意を求めるもの。

II 理事会への報告を要しないものとされたもの

1 事項の内容

報告事項(1) 第8回定時会員総会の結果報告について

報告事項(2) 第2回臨時理事会（書面表決）の議事録について

報告事項(3) 4・5月分収支報告について

報告事項(4) 会員の変更について

国家公務員共済組合連合会 千早病院（福岡市東）明石良夫 前病院長

→道免和文 病院長

報告事項(5) 行事予定について

◎ 第74回理事会報告

1 日 時 令和2年7月28日（火）16：00～16：55

2 場 所 九州大学医学部百年講堂

中ホール1・2

（福岡市東区馬出3丁目1番1号）

3 出席者（敬称略）

会 長 赤司

副会長 一宮、志波、岩崎

理 事 平専務理事、岩永総務理事、伊東

財務理事、壁村企画理事、江頭、

桑野、小嶋、津留、中房、平城、

深堀、増本、山下

計 17 名 （理事総数 25 名）

監 事 野村

議 長 岡嶋

顧 問 今泉、河野、上野

I 行政等からの通知文書

特にありませんでした。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第1回看護委員会

平専務理事から報告がありました。

日 時 令和2年6月25日（木）15：00～

場 所 九州大学医学部百年講堂

中ホール3

協議事項

1. 令和2年度研修計画について

2. 委員の追加について

イ リハビリテーション委員会

岩永担当理事から、報告がありました。

日 時 令和2年7月9日（木）15：00～

場 所 九州大学医学部百年講堂

中ホール3

協議事項

1. 令和元年度第2回リハビリテーション

ン委員会・研修会報告

2. 令和2年度研修計画について

3. 研修会受講料の変更及び資料代について

【開催予定】

ア 第161回看護研修会

平専務理事から報告があり、9月開催予定で進めていた当該研修会は、研修のあり方について再検討を行うことになり、開催の中止を決定しました。

日 時 令和2年9月1日(火)10:00
～2日(水)16:30

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ 認知症（認知症看護実践力向上研修）

研修内容：認知症の原因疾患と病態・治療／入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術／コミュニケーションの方法及び療養環境の調整方法／行動・心理症状（BPSD）／認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援／在宅に向けた看護・介護連携、退院支援など

【開催中止】

ア 第69回栄養管理研修会

平城担当理事から報告がありました。

日 時 令和2年8月22日(土)

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ 高齢者が安心して生活できるように

内 容

1. 「高齢者の栄養管理とフレイユ、サルコペニア」
2. 「高齢者の口腔ケアと嚥下」
3. 「サルコペニア予防～運動療法と栄養療法のコラボレーション」

Ⅲ 収益事業、法人事務等関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ほすびたる編集委員会

岡嶋委員長から報告がありました。

日 時 令和2年7月28日(火)15:45～

場 所 九州大学医学部百年講堂

中ホール1・2

協議事項

1. 8月号の現況について
2. 今後の編集計画及び発刊について
3. 編集委員会の開催について
4. 編集委員の交替について

(2) 第8回定時会員総会の議事録について

平専務理事から説明があり、了承されました。

(3) 第3回臨時理事会（書面表決）の議事録について

平専務理事から説明があり、了承されました。

(4) 6月分収支報告について

伊東財務理事から報告がありました。

(5) 会長及び業務執行理事の活動状況報告について

平専務理事から報告がありました。

(6) 会員の變更について

平専務理事から報告があり、了承されました。

医療法人社団高邦会 高木病院（大川市）

林真一郎 前病院長→外須美夫病院長

国家公務員共済組合連合会 新小倉病院（北九州市小倉北区）

渋谷恒文前病院長→塚本浩 病院長

社会医療法人 北九州病院 北九州古賀病院（古賀市）

中村純前院長→橋爪誠 院長

社会医療法人福西会 福西会病院（福岡市早良区）

白日高歩 前理事長→山下裕一 理事長

医療法人社団高邦会 福岡山王病院（福岡市早良区）

内藤正俊 前病院長→工藤祥病院長

(7) 第10回日本言語聴覚士会九州地区学術集会の開催延期について

平専務理事から報告がありました。

2 協議事項

各種委員会・研修会関係

(1) 各種委員会担当理事の選定について

平専務理事から、本協会の各種委員会の担当理事について提案があり、承認されました。

(2) 役員改選に伴う各種外部委員会への委員の推薦について

平専務理事から、県や医師会などから推薦依頼があっている各種委員会の委員の推薦の提案があり、承認されました。

(3) 第 161 回看護研修会の受講料について

平専務理事から、研修会の中止決定に伴い再検討を行うと説明がありました。

(4) 九州ホスピタルショウ 2020 に対する名義後援依頼について

平専務理事から説明があり、名義後援を承諾することが決定されました。

(5) 日本医療マネジメント学会第 20 回福岡支

部学術集会に対する名義後援依頼について平専務理事から説明があり、名義後援を承諾することが決定されました。

3 行事予定

平専務理事から説明がありました。

(1) 令和 2 年 8 月

ア 納涼会

今年は、コロナ感染症の拡大の状況を考慮し開催中止とする。

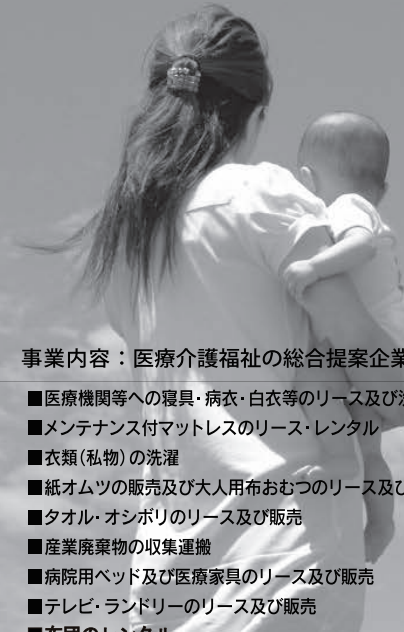
(2) 令和 2 年 9 月

ア 理事会

日 時 令和 2 年 9 月 23 日 (水) 16:00 ~
場 所 福岡県医師会館 5F 研修室 1

4 最近の医療情勢について

上野顧問から、福岡県の新型コロナウイルス感染症患者の状況について報告があり、特に若者を中心とした軽症者のホテル療養の拒否及び自宅療養の増加問題対策についての意見交換が行われました。



「安心・安全・清潔」 未来を見つめて...

太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 **中島 健介**

太陽セランドグループ会社

太陽シルバーサービス株式会社	〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田 585-1	TEL:0946-21-4700 FAX:0946-21-4701
ジャパンエアマット株式会社	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代 1-1-5	TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701
株式会社北九州シーアイシー研究所	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200	TEL:0947-46-2029 FAX:0947-46-2101
株式会社メディカルナビケーション	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代 1-1-5	TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672
株式会社サンウエックス	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200	TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445

事業内容：医療介護福祉の総合提案企業

- 医療機関等への寝具・病衣・白衣等のリース及び洗濯
- メンテナンス付マットレスのリース・レンタル
- 衣類(私物)の洗濯
- 紙オムツの販売及び大人用布おむつのリース及び洗濯
- タオル・オシボリのリース及び販売
- 産業廃棄物の収集運搬
- 病院用ベッド及び医療家具のリース及び販売
- テレビ・ランドリーのリース及び販売
- 布団のレンタル

残暑お見舞い 申し上げます

2020年8月



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 **赤 司 浩 一**

〒 812-8582
福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008
URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



久留米大学病院
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 **志 波 直 人**

〒 830-0011
久留米市旭町 67 番地
電話 (0942)35-3311 (代) FAX (0942)32-6278
URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>
E-mail: kanrika@kurume-u.ac.jp



福岡大学病院
Fukuoka University Hospital

病院長 **岩 崎 昭 憲**

〒 814-0180
福岡市城南区七隈七丁目 45 番 1 号
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200
URL <http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/>



国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
HAMANOMACHI HOSPITAL

病院長 **一 宮 仁**

〒 810-8539
福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262
URL <https://www.hamanomachi.jp>
E-mail: info@hamanomachi.jp

医療法人 **原三信病院**
Harasanshin Hospital

理事長 **平 祐二**
院長 **原 直彦**

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 - 8
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp>



医療法人 福岡桜十字

桜十字福岡病院

理事長 **今村 博孝**
院長

〒 810-0004
福岡市中央区渡辺通 3 - 5 - 11
電話 (092)791-1100 FAX (092)791-1105
URL <https://www.sj-fukuoka.or.jp>
E-mail: fukuoka.info@sakurajyuji.jp



医療法人徳洲会

福岡徳洲会病院

Fukuoka Tokushukai Hospital

理事長 **あふそ 安富祖 久明**
院長 **乗富 智明**

〒 816-0864
福岡県春日市須玖北 4 - 5
電話 (092)573-6622 FAX (092)573-1733
URL <https://www.f-toku.jp>

医療法人 永聖会

松田耳鼻咽喉科病院

理事長 **松田 峻一良**
院長 **江崎 嘉十**

〒 812-0053
福岡市東区箱崎 2 丁目 10 番 2 号
電話 (092)651-0522 FAX (092)651-5793



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

福岡県済生会二日市病院

院長 **壁村 哲平**

〒 818-8516
福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210
URL <http://www.saiseikai-futsukaichi.org>

医療法人

貝塚病院

理事長 **庄司 哲也**
院長 **川口 信三**

〒 812-0053
福岡市東区箱崎 7 丁目 7 番 27 号
電話 (092)632-3333 FAX (092)632-2230
URL <http://www.kaizuka-hosp.or.jp>



医療法人社団 益豊会

今宿病院

理事長 深堀元文
院長

〒819-0167
福岡市西区今宿2丁目12番7号
電話 (092)806-0070 FAX (092)806-4417
URL <http://www.imajuku-hospital.gr.jp>
E-mail:info@imajuku-hospital.gr.jp



医療法人社団 久英会

高良台リハビリテーション病院

理事長 中尾一久
院長 永田剛

〒830-0054
福岡県久留米市藤光町965-2
電話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535
URL <http://www.kyueikai.jp>
E-mail:kouradai-web@kyueikai.jp



医療法人 博愛会

京都病院

みやこびょういん

理事長 岡松秀一
院長 中池竜一

〒824-0811
福岡県京都郡みやこ町勝山箕田298番地
電話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2712
URL <http://www.miyako-hp.or.jp/>
E-mail:miyako-post@miyako-hp.or.jp



独立行政法人 国立病院機構

大牟田病院

院長 川崎雅之

〒837-0911
福岡県大牟田市大字橋1044-1
電話 (0944)58-1122 FAX (0944)58-6804
URL <https://omuta.hosp.go.jp/>



独立行政法人 国立病院機構

九州がんセンター

院長 藤也寸志

〒811-1395
福岡市南区野多目3-1-1
電話 (092)541-3231
URL <https://kyushu-cc.hosp.go.jp/index.html>



社会福祉法人

バプテスト心身障害児(者)を守る会

久山療育園重症児者医療療育センター

理事長 宮崎信義
センター長 岩永知秋

〒811-2501
福岡県糟屋郡久山町大字久原1869
電話 (092)976-2281 FAX (092)976-2172
URL <http://hisayama-smid.jp>
E-mail:hisayama@hisayama-smid.jp

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険 **田川病院**

院長 **黒 松 肇**

〒 826-0023

福岡県田川市上本町 10 番 18 号

電話 (0947) 44-0460 FAX (0947) 45-6540

E-mail: syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp



社会医療法人財団 池友会
福岡和白病院

会長 **蒲 池 真 澄**
院長 **富 永 隆 治**

〒 811-0213

福岡市東区和白丘 2 丁目 2 番 75 号

電話 (092) 608-0001 FAX (092) 607-3051

URL <http://www.f-wajirohp.jp>

E-mail: info@f-wajirohp.jp



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

福岡県済生会福岡総合病院

院長 **松 浦 弘**

〒 810-0001

福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号

電話 (092) 771-8151 FAX (092) 716-0185

URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

E-mail: byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp



早良病院

院長 **梅 野 守 男**

〒 819-0002

福岡市西区姪の浜 2 - 2 - 50

電話 (092) 881-0536 FAX (092) 883-8761

URL <http://www.sawara-hp.jp>



日本医療機能評価機構認定病院

救急病院 指定自立支援医療機関 (更生医療)

医療法人 シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長 院長 **杉 健 三**

〒 837-0916

大牟田市大字田隈 950 - 1

電話 (0944) 56-1119 FAX (0944) 56-2077

E-mail: soumu@sugi-hosp.jp



医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 院長 **江 頭 啓 介**

〒 814-0143

福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号

電話 (092) 864-1212 FAX (092) 865-4570

URL <http://www.sakurahp.or.jp>

医療法人 三野原病院
泯江堂

理事長 三野原 元 澄
院 長

〒 811-2402
福岡県糟屋郡篠栗町金出 3553
電 話 (092)947-0040 FAX (092)947-1011
URL <http://www.minkodo-minohara.com>

 千早病院

国家公務員共済組合連合会

病院長 道 免 和 文

〒 813-8501
福岡市東区千早 2 丁目 30 番 1 号
電 話 (092)661-2211 FAX (092)683-0411
URL <http://www.chihaya-hp.jp/>
E-mail: chihayahp@chihaya1.po-jp.com

 一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
なかばる
社会保険 中原病院
Social Insurance Nakabaru Hospital

院 長 岡 嶋 泰一郎

〒 811-2233
福岡県糟屋郡志免町別府北二丁目 12 番 1 号
電 話 (092)621-2802 FAX (092)623-2247
URL <http://www.nakabaru-hp.jp>
E-mail: nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp

 社会医療法人 喜悦会
那珂川病院

理事長 下 川 敏 弘
院 長 吉 村 寛 志

〒 811-1345
福岡市南区向新町 2 丁目 17 - 17
電 話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460
URL <http://www.nakagawa-hp.com>

社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

聖マリア病院

病院長 島 弘志

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地
電 話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115
URL <https://www.st-mary-med.or.jp/>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 陸

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
電 話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306
URL <https://www.st-mary-health.jp/>

 国家公務員共済組合連合会
新小倉病院

病院長 塚 本 浩

〒 803-8505
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号
電 話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
URL <http://www.shin-kokura.gr.jp>
E-mail: kkk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp



日本赤十字社

院長 中 房 祐 司

〒 815-8555

福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号

電話 (0570)03-1211 FAX (092)522-3066

URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>



田 川 市 立 病 院

田 川 市
病院事業管理者

鴻 江 俊 治

病 院 長

松 隈 哲 人

飯塚病院
innovate and evolve

院長 増 本 陽 秀

地域医療支援病院
救命救急センター
臨床研修指定病院
地域がん診療連携拠点病院
総合周産期母子医療センター
ISO9001 認証取得

〒 820-8505

飯塚市芳雄町 3 番 83 号

電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744

URL <http://aih-net.com>



医療法人社団筑山会

松 岡 病 院

介護医療院

ふくろうの森

理事長
院 長
管理者

松 岡 嘉 宣

〒 821-0012

福岡県嘉麻市上山田 1287

電話 (0948)52-1105 (病院)

電話 (0948)52-0577 (医療院) FAX (0948)52-1926

URL <http://www.chikuzankai.com/>

E-mail:mtok-sohmu@mx61.tiki.ne.jp



福岡大学西新病院

Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 三 浦 伸一郎

〒 814-8522

福岡市早良区祖原 15 番 7 号

電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398

URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



社会医療法人財団 池友会

香椎丘リハビリテーション病院

KASHIIGAOKA REHABILITATION HOSPITAL

院 長 松 尾 義 孝

〒 813-0002

福岡市東区下原 2 丁目 24 番 36 号

電話 (092)662-3200 FAX (092)662-3303

URL <http://www.kashii-rh.net>

E-mail:info@kashii-rh.net



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

院長 桑 野 博 行

〒 812-0046

福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号

電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900

URL <http://www.fcho.jp/shiminhp/>

E-mail:shiminbyoin@fcho.jp



原土井病院

HARADOI HOSPITAL

理事長 原 寛
院長 野 村 秀 幸

〒 813-8588

福岡市東区青葉 6 - 40 - 8

電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059

URL <https://www.haradoi-hospital.com>



福岡県立精神医療センター

太宰府病院

Fukuoka Prefectural Psychiatric Center Dazaifu Hosupital

院長 小 嶋 享 二

〒 818-0125

福岡県太宰府市五条 3 丁目 8 番 1 号

電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060

URL <https://www.dazaifu-hsp.jp>

E-mail:info@dazaifu-hsp.jp



公立八女総合病院

企業長 平城 守

〒 834-0034 福岡県八女市高塚 540 番地 2

電話 (0943)23-4131 FAX (0943)22-3185

URL <http://www.hosp-yame.jp/hospital/>

みどりの杜病院

院長 原口 勝

〒 834-0051 福岡県八女市立野 362 番地 1

電話 (0943)23-0002 FAX (0943)23-0012

URL <http://www.yame-midori.jp/>

介護老人保健施設 回寿苑

施設長 須古 治男

〒 834-1215 福岡県八女市黒木町湯辺田 270 番地

電話 (0943)42-3131 FAX (0943)42-3111

URL <http://www.hosp-yame.jp/kaijuen/>



社会医療法人

弘恵会 ヨコクラ病院

理事長 横 倉 義 武

院長 横 倉 義 典

〒 839-0295

福岡県みやま市高田町濃施 480 番地 2

電話 (0944)22-5811 FAX (0944)22-2045

URL <https://yokokura-hp.or.jp>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市立こども病院

Fukuoka Children's Hospital

院長 原 寿 郎

〒 813-0017

福岡市東区香椎照葉 5 - 1 - 1

電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300

URL <http://www.fcho.jp/childhp/>

*掲載は受付順にさせていただきました。



医療法人相生会
金隈病院

院長 **田中 洋輔**

〒812-0863
福岡市博多区金の隈3-24-16
電話 (092)504-0097 FAX (092)504-1502
URL <https://kanenokuma-hp.jp>

社会医療法人 天神会

KOGA 社会医療法人天神会
古賀病院グループ

理事長 **古賀 伸彦**

〒830-8577
福岡県久留米市天神町120番地
電話 (0942)38-2222
URL <http://www.tenjinkai.or.jp>

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器機等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

ほすびたる 749 号をお届けします。

本号には、多くの会員の皆様より、残暑見舞いの広告を掲載していただき、ありがとうございました。心より厚く、御礼を申し上げます。

また、特別寄稿として、福岡東医療センター名誉院長の上野道雄先生（福岡県コロナ感染症調整本部）に、「コロナウイルス感染症」と題して、ご執筆いただきました。皆様が最も注目されている話題であると思われ、まさに時宜を得たご寄稿に感謝いたします。

編集委員会の方では、委員の入れ替えがありました。澄井俊彦先生、増本陽秀先生、平野礼子氏の3名の方が退任され、伊東裕幸先生、横倉義典先生（お2人とも7月より）、そして田邊郁子氏（4月より）が新たに委員に就任されました。退任された皆様には、「ほすびたる」の発刊に、多大なるご尽力をいただき、ここに深く感謝申し上げます。また、新しい委員の皆様には、ぜひ、「ほすびたる」に新風を吹き込んでいただけますように、お願いいたします。

さて、モーツアルトの生地、オーストリアのザルツブルグでは、毎年、夏に世界的な音楽祭が開催され、多くの音楽ファンを楽しませてくれています。この「ザルツブルグ音楽祭」には、世界の超一流の演奏家たちが集い、音楽愛好家たちの垂涎の的となっています。特に、今年は創設 100 周年の記念すべき年にあたり、200 もの公演が予定

されていました。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、その開催が危ぶまれるようになったのです。その後、感染がある程度落ち着いた頃より、オーストリアでは、いち早く行動制限の段階的解除が進み、政府が大人数の集まる文化的行事への参加制限を緩めたことから、「音楽祭」の開催が可能となりました。ただ、感染が終息したわけではないので、会期の短縮（8月1日～30日）、公演数の半減など、規模が大幅に縮小されました。また、オーケストラのメンバーは定期的なウイルス検査を受けねばならず、聴衆は席に着くまでマスク着用、ディスタンスの維持、休憩や飲食物提供はなし、などの感染対策の遵守が求められています。また、チケットには、購入者の情報を入れ、感染発生時の追跡ができるようになっていました。主催者は、「このような状況下でコンサートが成功すれば、多くの演奏家が、このような時でもコンサートができるんだ、という勇気と自信が持てるようになるだろう。」という趣旨のことを述べています。まさに、芸術立国、オーストリアの人々の「心意気」が感じられるではありませんか。コロナに対する恐怖、不安にさらされている日々の中、このような「心意気」こそ、人間としての尊厳を保つ貴重な宝物でしょう。

コロナに負けない「ほすびたる」。編集委員一同、その「心意気」で頑張ります。

（岡嶋泰一郎 記）

ほすびたる

第 749 号

令和 2 年 8 月 20 日発行

発行 ◎ (公社) 福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号

福岡県メディカルセンタービル 2F

TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313

E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集 発行人 ◎ (公社) 福岡県病院協会

制作 ◎ (株) 梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1

麻生ハウス 3F

TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095

E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…赤司 浩一

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…一宮 仁

編集委員…平 祐二・岩永 知秋

壁村 哲平・伊東 裕幸

横倉 義典・田邊 郁子

病院・療養所等関係のみなさまへ

国勢調査へのご協力を よろしくお願いします

令和2年10月1日に国勢調査が実施されます。

調査員がお伺いした際には、ご協力をお願いします。また、市区町村から依頼があった場合、ポスターなどの掲示や、病院の管理者、職員等からの調査員の推薦につきましてご協力をよろしくお願いします。

【国勢調査とは】

統計法に基づき、5年ごとに実施する国の最も重要な統計調査です。

- ◆ 国内に常住するすべての人及び世帯が対象です。
病院・療養所等に、3か月以上入院している人は、その病院・療養所等が調査場所となります。
- ◆ 調査方法 … 調査員が病院・療養所等にお伺いし、調査票を配付・回収します。（※一般世帯ではインターネット回答ができます。）
- ◆ 結果利用 … 国勢調査のデータは、保健医療福祉計画、健康づくり指針、高齢者保健福祉計画等の行政施策、都道府県・市町村議会の議員定数の決定、将来人口の推計などの基礎資料として利用されます。

＜お問い合わせ先＞

市区町村の国勢調査担当課

又は 福岡県調査統計課 TEL 092-643-3191

国勢調査2020 総合サイト

<https://www.kokusei2020.go.jp/>



総務省統計局・福岡県・市区町村からのお知らせです。